



カレンダーは、もうすぐ2020...

あつという間に12月。何かと気ぜわしい季節ですが、ぜひちょっと立ち止まって、今年はどうな年だったかな?と振り返ってみてください。どんな本に出会いましたか?どんな発見がありましたか?来年は2020年。心と頭のアンテナをピン!と立てて、充実の一年にできるといいですね!

冬の特別貸出スタート!

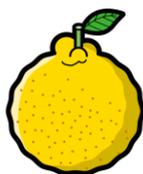
もうすぐ冬休み。冬の特別貸出を始めます。

12月12日(木)~

ひとり5冊まで

返却:1月8日(水)まで

もちろん、読み終わったら返して、次の本を借りてOKです。特別貸出期間を有効活用して、たくさん読んでくださいね。



12月22日は「冬至」。一年で一番昼が短く、夜が長くなるころです。冬至を境に、また太陽が北半球に近づいてきます。

Merry Christmas!

★図書館にはクリスマスに関連する本がたくさんあります。皆さんは、どんなお話を知っていますか?



大切な人に最高のクリスマスプレゼントを選んだ2人の物語『賢者の贈物』、老人スクルージが幽霊に自分の将来を見せられる『クリスマス・キャロル』などクリスマス定番のおはなしは有名ですね。図書館にはそのほかにも、クリスマスの起源や文化を紹介する本があります。

カウンター横に集めて並べているので、ぜひ手に取ってみてください。もちろん貸出できます。



この本、どうでしょう? ☆☆☆☆☆

『クリスマスを探偵と』
伊坂幸太郎/著

探偵カールがクリスマスの夜に出会った謎の男とは...?伊坂幸太郎が大学生の時に初めて書いた小説を自身の手によりリメイク。心があたたかくなるストーリーです。



『くらべる東西』
おかべたかし/著

銭湯は東と西で違います。いなりずしもおでんも環状線も、線香花火も違います。見開きの写真で「ホントだ!」とびっくり。説明を読んで納得。他に『くらべる時代』『くらべる世界』『くらべる値段』も。

『マーガレット・サッチャー』
筑摩書房編集部/著

決して裕福ではないけれど正義感の強い少女は、欧州初の女性首相となり、強い英国を目指しました。英国は今EU離脱をめぐって揺れています。欧州を知るために忘れてはならない人物です。

百人一首の本、読んでみませんか?

年末年始、百人一首の話題に触れることができますね。百人一首は、平安時代に京都小倉山荘のふすまを飾るために藤原定家が選んだ和歌100首です。

和歌なんて分かりにくいなあと思うかもしれませんが、それぞれの歌に意味があります。作者について知ると興味がわくのではないのでしょうか。

『ちはやふる』のブームもあり、百人一首の本は色々出ています。この冬、ぜひお気に入りの一首をみつけてみませんか。

私のお気に入りのこの歌。情景が思い浮かぶようで、好きです。

心あてに
折らばや折らむ
初霜の
おきまどはせる
白菊の花

当てずっぽうに折るな
らば折ってみようか。初
霜が一面に降りて見分
けがつかないように目
をまどわせている白菊
の花を。

📖本は新しい自分への扉📖